

令和4年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和4年度教育施策の柱である「スクールESDくさつ」「英語教育草津のStandard」「New草津型アクティブラーニング」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成する。

【学校 目標】

○明日も行きたい学校 会いたい友だち・先生 心待ちの授業

【現状と課題】

- 視点1 「算数の学習内容がわかる」「自分なりに考えたり解いたりしようとしている」児童が増えてきた
・「算数のよさ」を整理し、児童がおもしろさを感じられる活動・発問・支援を工夫する必要がある
- 視点2 課題にまじめに取り組める児童が多い。
・自分の考えを積極的に発表したり交流したりして、考えを深めようとする姿に弱さがある。
- 視点3 計画的・継続的に校内の研修を実施し、教職員一人ひとりの自発的な成長を図る必要がある。
・「書く力」を全校で育てる必要がある。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○校内研究「心が動き、発見する喜びを育む」の実践を行い、自分で問題を見出したり、解決したりする力を育てる。	・「学びのアンケート」の「算数の授業の内容はよくわかりますか」「算数の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」の強い肯定率25%以上 ・「学びの基礎チャレンジ」の正答率が県平均程度(−2ポイント差以内)以上の児童の割合50%以上		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○総合的な学習の時間において、課題を発見し、課題の解決に向けて考えたことを地域や身の回りの人に発信する授業を設定する。	・学びのアンケート「授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたいと思いますか」の強い肯定率50%以上		
○特別活動(学級会、代表委員会)の充実を図り、児童の自己決定の場をつくったり、共感的人間関係を育成したりする。	・「明日も行きたい学校」を創るための代表委員会の実施回数 1回目:4回以上 2回目:9回以上		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○校内のOJT研修を計画的に進め、キャリアステージに応じた人材育成を図る。	・テーマを設けたOJT研修を年間予定に位置づけて実施した回数 1回目:5回以上 2回目:10回以上		
○朝学習の時間に「書く力」を育てる活動に全校で取り組んだり、生活習慣や学習習慣を保護者とともに育てる週間を設定したりする(家庭学習強化週間)。	・学校評価「自分なりの課題をもって自己研修に努めている」の強い肯定率70%以上 ・「書く力」を育てる朝学習に計画通りに取り組んだ職員の割合70%以上 ・家庭学習強化週間で、各学年の目標学習時間(学年×10分+10分)を達成した児童の割合60%以上		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。
・4・5月の職員会議や校内研究会等において、学ぶ力向上推進リーダーが「学ぶ力向上策」について説明するとともに、それぞれの取組事項に対する具体的な内容について共有する。
・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については研究主任、視点2については特別活動主任、視点3については教務主任が中心となって、組織的に実践につなげる。

今年度の取組の成果と課題

--

